Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.34	0.00
JPY/THB	0.2586	-0.0030
USD/JPY	136.57	1.50
EUR/THB	37.24	0.09
EUR/USD	1.0533	0.0022
USD/CNH	6.692	0.003
SGD/THB	25.49	0.04
AUD/THB	24.64	0.07
USD/INR	78.08	0.10
USD Index	104.44	-0.27

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.511	-0.061
10Y (THB)	2.952	-0.040
5Y (USD)	3.363	0.022
10Y (USD)	3.275	0.049

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,834.6	-1
WTI (Oil)	110.65	1.09
Copper	8,995.0	17.5

Stock

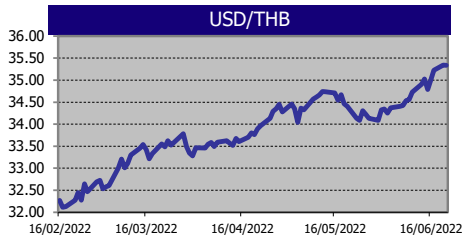
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,574.52	15.31
NIKKEI (JP)	26,246.31	475.09
DOW (US)	30,530.25	641.47
S&P500 (US)	3,764.79	89.95
SHCOMP (CN	3,306.72	-8.71
DAX(GER)	13,292.40	26.80

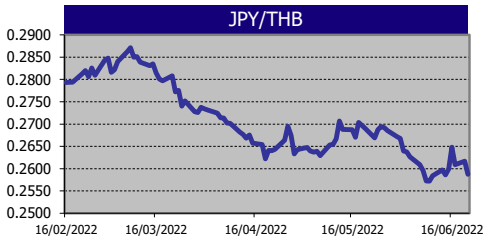
Fund Flow (Overseas Investors)

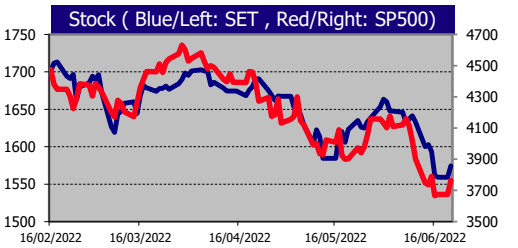
	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,546)	948.6
Bond net flow	(5,643)	-8654.2

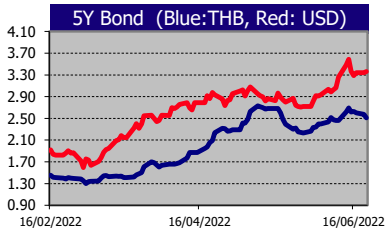
*compared with previous day

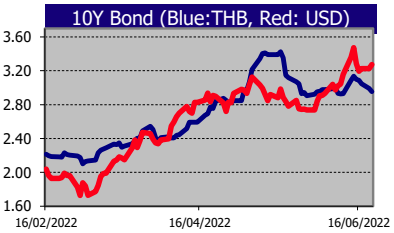
(Source: Bloomberg)

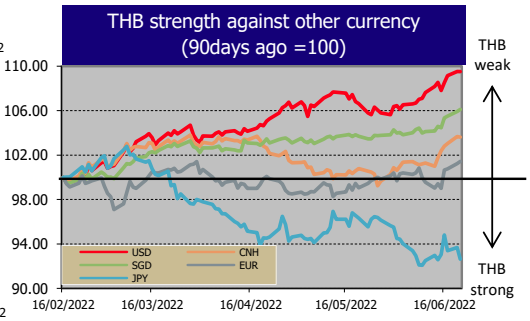


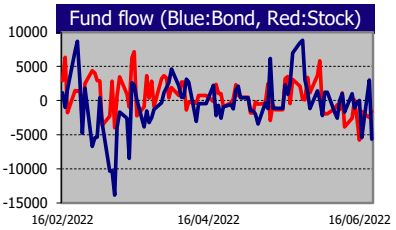


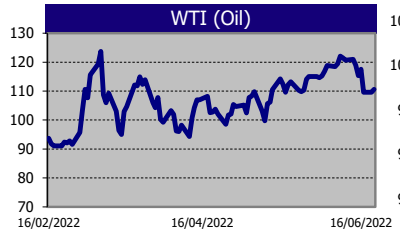












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは35バーツ前半で取引を開始。この日は先行きの不透明感を受けてタイ債券や株式に対する外国人投資家の売り圧力が高まり、バーツ安基調となった。午後、アーコム財務相から経済支援のために政策金利の凍結に関する市中銀行あてヒアリングが入ったとのヘッドラインが流れると、一段とバーツ売りが強まって同日高値を記録したが、その後は35前半まで反落。海外時間、下げ幅を縮小するが、材料難から上値重く35.34と前日比変わらずで終えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は135円前半で取引を開始。日経平均は前日の下落から反発したが、特段目ぼしい材料なく、横ばいが続いた。海外時間では、米国休日明けの参加者が引き続き日銀の緩和継続のスタンスを材料に円売りを持ち込んだためか、円安が止まらず、一時136円後半まで上昇し、そのまま高値圏136.57で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週のFOMCもそうでしたが、各国中銀(日銀を除く)はインフレを抑え込むことを最優先課題として取り組んでいます。ただし経済の回復状況がそれぞれ異なる中で急ブレーキをかけた際に耐えられる国とそうでない国の差が顕著になって来ることが想定されインフレ対応にも温度差が見られます。ECBは先週緊急ミーティングを開き、パンデミック緊急購入策(PEPP) において保有する債券の再投資を柔軟に行うことを決定し市場分断化の新たな危機対応ツール設計が進められることになりました。利上げに動こうとする一方で、欧州域内で経済状況が大きく違うためにそちらも考慮に入れた政策が必要であり、米国との比較ではインフレ対応が弱い印象を受けます。英国では米国に先駆けて利上げを開始しましたが、25bpの利上げを継続しておりペースは緩やかなものとなっておりドルに対して弱い状況です。利上げを進めることが経済減速を生むことになるため、ある程度利上げパスが見えたところで金融政策差による相場から次は経済回復差による相場へと移っていくのかと考えています。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.